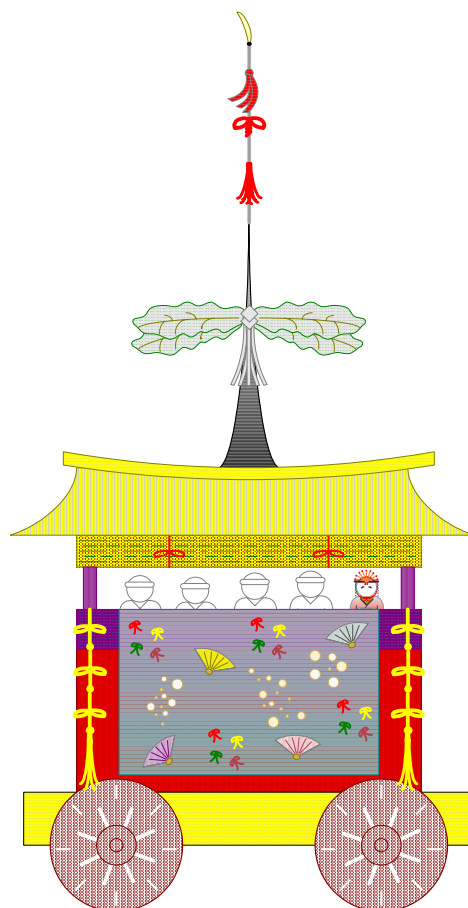




7 計画の進捗管理



《現状と課題》

本計画は、循環型社会の実現に向けた本市での取組の指針となるものであることから、計画が策定された後も、計画が市民、事業者には十分周知されているか、計画に従って施策が確実に遂行されているか、施策は十分な効果を上げているか等の観点から、チェックし、適宜見直していくことが重要です。

前計画においては、進捗管理の考え方としてPDCAサイクル（Plan-Do-Check-Action）を打ち出していましたが、実際には、このうちチェックの部分にあたる施策の実施状況の調査・点検を十分にすることができていませんでした。

この反省に立ち、本計画では、チェック機能を充実させ、施策をより効果的なものとしていく必要がありますが、そのためには計画の進捗管理体制を強化するとともに、廃棄物に関する調査研究を充実させていくことが必要です。

本市ではごみの細組成調査など先進的な調査研究を実施してきましたが、その結果に基づく情報発信や具体的な施策への活用がうまく図れていないといった課題があります。



● 施策の方向性 ●

- ✓ 循環型社会の実現に向けて継続的な改善を図るため、より具体的な行動方針を示した実施計画を策定し、PDCAサイクル（21 ページ参照）に基づき、計画の進捗管理を行う体制を確立していきます。
- ✓ 計画の進捗状況については、プロジェクト等を設置し、定期的にチェック・評価していきます。
- ✓ 計画の進捗状況については、積極的に公表していきます。
- ✓ 計画を着実に推進していくため、効果的かつ効率的な執行体制を確立していきます。
- ✓ 廃棄物に関する調査研究を充実させ、施策の進捗状況のチェックと今後の方向性を決定するための基礎資料にするとともに、ごみの減量につながる情報発信を積極的に行っていきます。

このため、以下のような取組を進めていきます。

計画の周知

行動計画（アクションプラン）の策定

計画の進捗管理体制の確立

進捗のチェック体制の確立（進捗管理のためのプロジェクト等の設置）

進捗状況の市民への積極的な公表

廃棄物に関する調査研究の充実

